

生活教養シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
生活教養	2	3	全	選択	普通科文理コース

1 概要および目標

衣生活や食生活にかかわる生活文化について学習し、生活文化に興味・関心を持ち、実習等を通して実生活の中に取り入れて心豊かで快適な暮らしができる知識と技術を身につけることを目標とする。

2 成績評価

定期テスト、課題プリントおよび提出物、実習の取組状況等を総合的に判断し評価する。

評価の観点として定期考査40%、提出物等40%、授業及び実習態度等20%を目安として評価をする。

3 使用教科書・教材

教材： 最新版 私たちのエチケット ―身近なところから始めよう― 教育図書
自主編成教材 等

4 授業の展開と形態

20人を限度とする。

被服製作実習や調理実習等を取り入れながら授業を進めていく。

被服製作については3～4名編成グループ、調理実習については、2～3名編成グループで行う。

5 学習方法

生活教養は、衣生活や食生活にかかわる生活文化に興味・関心を持ち、身近なものとして捉え、実生活の中に取り入れて心豊かで快適な暮らしができる知識や技術を身につけることを目標としている。生徒の興味関心に配慮し、わかりやすい授業を展開するためにも視聴覚教材の有効活用や実物提示等に努力するとともに、できるだけ実習を取り入れ、体験的な学習を通して理解を深める。

6 その他

実習費を受講者負担とする。

令和5年度 生活教養（3学年） シラバス

学期	月	学 習 内 容	配 当	評 価 等
1 学 期	4	私たちのエチケット ・マナーとエチケットについて	2	授業の取り組み 状況等 プリント等の提出
	5	第1章 高校生としてのマナー 第2章 日常での立ち振る舞い	10	
	6	第3章 衣文化とマナー ・身だしなみの基本、和装のマナー	2	授業の取り組み 状況等 実習の取り組み 状況等 作品提出 定期考査 ファイル提出
	7	・被服製作実習手芸の基本的技法 (生活で利用できる被服や物作り)	12 (26)	
2 学 期	9	第4章 食文化とマナー ・日本料理、会席料理のマナー 調理実習①	6	授業・実習の取り 組み状況等
	10	・西洋料理のマナー テーブルマナー、コース順のマナー 調理実習②	6	
	11	・中国料理、パーティーマナー 世界の料理	4	授業・実習の取り 組み状況等 作品提出
	12	第6章 年中行事とマナー 沖縄の行事の特徴（行事食）薬膳料理 調理実習 ③	6	
12	第7章 フォーマルマナー ・訪問とおもてなしのマナー ・贈り物、お祝い、お見舞い、弔辞 等	10 (32)	定期考査 ファイル提出	
3 学 期	1	第5章 情報伝達とマナー ・話し方、聞き方、電話対応のマナー	4	授業の取り組み 状況等 プリント等の提出 定期考査 ファイル提出
	2	第8章 社会に出てからのマナー ・1人暮らし、会社でのマナー	4	
	2	第9章 国際社会とマナー ・国際人としての海外でのマナー	4 (12) 計(70)	